

ふしよくふ
不織布マスクを
例にチェック!

すきま
マスクと顔の間に隙間、ありませんか?

～ 隙間のできないマスクのつけ方 ～

つける前

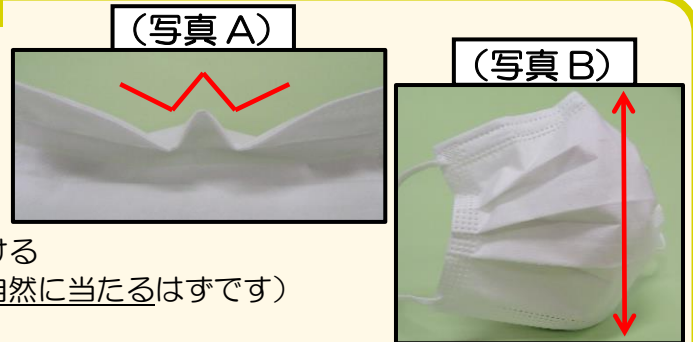
- ①マスクの鼻部分の針金をW型に曲げる (写真A)
- ②マスクのひだ (プリーツ) を目一杯広げる (写真B)

つける時

- ③マスクの下部分を顎に引っかけながらゴムを耳にかける (そうするとマスクの上部分が中央の写真★の位置に自然に当たるはず)

つけた後

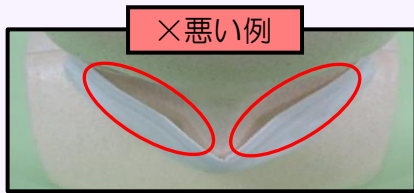
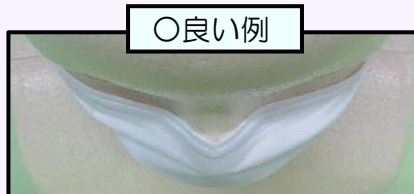
- ④鼻部分の針金を指で押しながら鼻の形に合わせる
- ⑤マスクと頬の間に隙間がある場合、マスクの端を内向きに折る → 最後に鏡を見て全体をチェック!



ポイント

鼻の部分に隙間は
ありませんか?

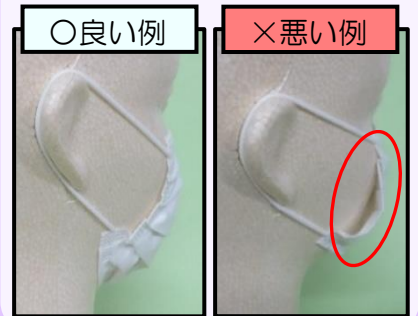
①のよう鼻部分の針金をW型に曲げてからマスクをつけ、④のように針金を鼻の形に合わせれば隙間はできず、マスクがずり落ちてくることも防げます。



ポイント

頬の部分に隙間は
ありませんか?

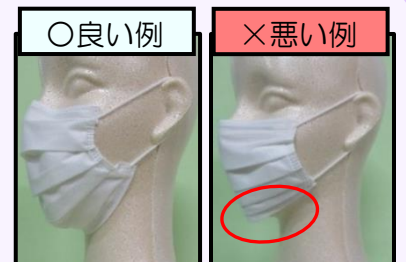
マスクと頬の間には隙間ができやすいため、その場合は、⑤のようにマスクの端を内向きに折りましょう。



ポイント

顎がマスクから
出ていませんか?

③のようにマスクの下部分を顎に引っかけながらマスクをつければ顎が出ません。



マスクを隙間なくつけることで、自分が感染する可能性を下げることができます。また自分が感染していた場合、他の人へうつす可能性も下げることができます。

健康やお薬などについて、気になることがある方は、相談薬局・出張相談会で薬剤師に気軽にお尋ねください。

《 出張相談会 保健室に学校薬剤師が来ます 》
ドラッグレターの内容、医薬品や健康、薬物乱用などについて、相談・聞きたいことがある人は保健室まで!
8月24日(火) 12時15分～12時55分

作成・発行元 北陸大学薬学部
准教授 大柳賀津夫(学校薬剤師)
准教授 岡本晃典(薬剤師)
5年生 南平沙和香

